

新・短期大学の改革構想と実現方策

2004年5月27日(木)

時間	講義項目
9:40 ~ 11:20	<p>新・短期大学の改革構想と実現方策 ~ 2年制チャーターカレッジ、3年制大学への変身 ~ 教育ジャーナリスト 田村 富彦</p> <p>時流から取り残された曖昧な「短期の大学」の淘汰は、すでにカウントダウンの状況にある。「4大化」でサバイバルは可能だったのか、成功したケースは稀である。短大の再生は、時流に先駆する独自の改革構想をもとに徐々に、そして急速に大胆な変身を図ることにある。「4大化はできない・しない」という決断からのサバイバル戦略を提起したい。</p> <p>1. 「4大化」への転身か、時代に先駆する変身か ~ サバイバルの活路にならない「4大化」 ~</p> <p>(1) 「出口」から見た進路・進学状況の階層分化 ~ 教育の貧困・空白が生み出す無業者群 (2) 大学・高専・短大と、大学院・専門学校と ~ 分化と接近・融合化 (3) 短大の転身「4大化」をリアルに検証する ~ 種別化できるコアカリキュラムの有無</p> <p>2. 短大を再生させる2大構想と実現方策 ~ 成功への萌芽を見せる事例からのアプローチ ~</p> <p>(1) 2年制のチャーターカレッジ化 (2) 新しい職業教育を目指す3年制大学化 (3) 強力な教育経営、新しい大学組織へ</p> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
11:30 ~ 12:50	<p>新島学園短期大学 20年目のさらなる挑戦 ~ 教養教育から教養教育・職業教育へ / 1学科から2学科へ / 女子短大から共学へ ~ 新島学園短期大学 井上 尹</p> <p>1. 社会的ニーズの把握 2. キャリアデザイン学科・保育学科への改組増設 3. 資格取得講座の設定 4. 新指導体制の構築</p> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
<p>昼 食</p>	
13:50 ~ 15:10	<p>宮崎女子短期大学 / 「地域短大」としての信頼を築く全学的FDの展開 ~ 「入学満足度90%」を目標に、各教員FD宣言、月1回全学ミーティング ~ 宮崎女子短期大学 宗和 太郎</p> <p>1. なぜ日本一の地方短大を目指すのか? (1) 本学の特色 (2) 生き残り問題 (3) 全学を動かす目標設定 (4) 2000年FD宣言</p> <p>2. どのようにして全学的取組にしたか? (1) 学校を変える取組の条件 (2) FD月目標 (3) 全学FDミーティング (4) 各教員FD宣言 (5) FDニュース (6) ガイダンスアワー (7) 教員相互授業参観 (8) 学生による授業評価 (9) 教育カンファレンス (10) 授業研究会 (11) 『FDTIPS集』</p> <p>3. 5年間の取組は学校をどう変えたか? (1) 学生満足度の向上 (2) 教員の変化</p> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
15:20 ~ 16:50	<p>1/2大学から日本型コミュニティ・カレッジへの転換をめざして (学) 広島文化学園 坂田 正二</p> <p>1. 文部科学省の「地域総合科学科」の提言と日本私立短期大学協会及び短期大学基準協会の対応 2. 基本的な出発点 ~ 高等教育「二つの途」 3. 地域総合科学科は「失われた人間関係」の再生をめざす ~ 広島文化短期大学の場合 4. 地域総合科学科は常に変化し、常に前進しなければならない 5. 全国展開と定員確保の状況</p> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>